

土岐まちなか 市民ワークショップ を開催しました

主催：土岐市、(株)UR リンケージ

土岐市では、まちなかの課題として土岐市駅周辺を市の玄関口としての魅力や賑わいを取り戻したいと考えています。有識者等による「土岐市まちなか未来会議（未来会議）」を設置「土岐市駅周辺のまちづくり基本構想（「基本構想」）」を策定予定です。

そこで、①まちづくり等の活動しているNPO、市民や関係団体、今後活動してみたいと思う人達のまちづくりへの想いやアイデアを、基本構想の検討に活かすこと②将来のまちづくり活動の第一歩とすることを目的としたワークショップをスタートしました。



第 3 回ワークショップ ◆日時:2025 年 2 月 9 日(日)9:45~12:00 ◆場所:土岐市役所 1 階多目的スペース

NPO など市内で活動されている 16 名が参加したワークショップとなりました。

高校生を含めた初参加の方も多く、主催者より、今回の『土岐まちなか市民ワークショップ』の概要や対象エリア・目的、『第 2 回土岐市まちなか未来会議』の開催概要を説明しました。その後、第 2 回ワークショップの振り返りと『土岐市まちなか未来会議』で行った報告について説明しました。



グループワーク成果

グループワークでは、『土岐の未来のまちなかに向けてこれから出来ること』をテーマに具体的に直近 10 年を想定し、話し合いを行いました。

ありがとうをつなぐ会～おしえあうコミュニティ～

相互のいろいろな活動でつながり、自然と「ありがとう」と言い合える、体験を通じて心と体が元気になるコミュニティ形成。すでにあるものが横につながり、気軽に参加、そこに行けば、まちなかで何が行われているかわかるスポット

- ターゲット：①小学生（に加えて、子供の親族世代）
※こどもはみんな育てる！将来を担っていく小学生を起点
- 場所の立地条件：駅周辺でふらっと立ち寄りやすい場所
※例えば三起屋。（三起屋は、みんなの冷蔵庫であり、みんなの洋服タンス。駐車場もあり場所が良い。）
※1 か所だけでなく、本拠点と支拠点があってよい
- 規模：ワークショップ会場ぐらい（100 m²程）
※様々な活動の受け皿として集まれる規模、場合によっては発表会など情報発信ができる規模程度
- 時間帯：10～17 時（三起屋であれば、その開業時間による。）
※活動のメインは屋外利用。体を使った健康体験
※高齢者が中心の場合は、朝も検討したい
- 費用：運営費（実行員などの人件費・光熱費など）が必要となる。継続のために市の補助は期待したい。
- その他：活動の継続のために安全の確保が重要・具体的に活動しているプレイヤー（チームの中では、おかみ塾、観光ガイドの会など）、ふわっと協力したいプレイヤー（SNS などの発信によりつながっていく人）はすでにいるのでつなげていくだけ！・場所と情報発信はセット・いろいろな人が横につながる。人と人のつながりは心と体の健康をもたらす・「ありがとう」と言い合える！（役割があり、相互に教えあうコミュニティ）

目指す姿は健康！

相互扶助のコミュニティ
（子供⇄老人、子供⇄子供、ママ⇄ママ）の象徴的なアンテナスペース
（視覚的に伝わりやすくすることが大事）

子供が気軽に集まれる場所
いろいろな経験（人と人・動物と・アート等とふれあいがあがり、景色を感じながらウォーキングやヨガ）をすることで『ありがとう』が言い合える

誰でもピンころ
元気にピンピンと生きて、最後はコロッと

野外活動を通じて自然と歴史を生かしたい市内の資源（新博物館・古墳・妻木城・陶祖の碑等）と子どもや健康をつなげたい



BASE 通り！

- (野球の) ホームベース。駅前からの BASE 通りを1塁と考えて、ここを通り抜け土岐市内の別の場所に行ってもらい、最終また土岐市駅へ戻ってくる
- (楽器の) BASE。BASE 通りは一本の弦ととらえ、共鳴しあう土岐市にぎわいの軸となる通りとなるような想いを込めて

- ターゲット：子育て世代&18~65歳 (市外、海外からの来訪者も見込む)
- 場所：駅前の南北道路を BASE 通りとする
- 運営時間：駅前なので24時間を想定
 - ・朝③高校生→朝は登校前の学生も買い食いしたい朝から牛丼食べます！！⑧高齢者→早起き世代
 - ・昼③高校生④学生⑦子育て世代
 - ・夜④学生⑤社会人⑥社会人
- 費用：テナントは市の所有として、事業者へ格安で賃貸(メリット：立ち上げやすい/デメリット：採算を考えなく持続する努力をしにくい)/市内でクラウドファンディングして、賛同者から資金調達(メリット：みんなが自分ごととする)/空店舗を営業できる形態にすることへのハードル高い



つなげるLAB

まちづくりのLAB(実験場)/誰でもふらっと寄れる場所
/思いがけない出会いのある場所

- 場所：生活を豊かにする時間の使い方ができる/まちづくりの仲間を集める/クリエイターマッチングが叶う/中の様子がわかるガラス張り←入りやすい雰囲気は大事
- 用途：待合室として/立席で打合せができるブース/コワーキングスペース/カフェ(学割の導入も)/番頭さんが常駐する相談コーナー(将来の進路についての相談とか)/ちょっとしたことができるフリースペース/当然 Wi-Fi 完備/空間が必要な時は什器を移動し、空間を確保⇒ヨガ教室、パーティースペース等に活用/広さは10坪程度
- 開館時間：月~金 10時~19時くらい
- 対象者：午前：子育て世帯の親(保育園に送り出したあと)、午後：高齢者・余裕のある壮年層など/夕方以降：高校生・大学生(学校帰り)/夜間：就業者(仕事帰り)
- 運営方法：コアメンバーが2~3人/番頭さんがいることでふらっと寄れる/登録制度により運営を支える人たちを組織⇒LABを支える〇〇研究員と命名(例えばヨガ教室のインストラクターはヨガ研究員、他に進路相談研究員、華道研究員)/研究員のシフトはSNSで呼びかけ、呼応するメンバーが現場へ/曜日によって人は変わる/フレキシブルな運営(週何日かは夜間営業)/軽くアルコールを飲む場所として/土日にイベント開催/子育てワークショップ、ヨガ教室など
- 運営資金：安価に借りられる場所
 - ・450円/1杯のコーヒー代で運営するコワーキングスペース事例有/協賛企業を集める/空き店舗活用



駅前をなんとかしたい！

駅前にぎわい

学生によるイルミネーションや灯り/飲み屋の営業/福祉関係で介護者の集いの場/商店街の復活

駅前にあると嬉しい機能

宿泊施設/居酒屋/介護者の悩み相談の場所(ケアBAR)/アートギャラリー/陶芸作り体験/イルミネーション/食べ歩き/2人並んで歩ける道(おしゃべりしながらぶらぶらしたい)/灯りフェア/子供と大人が関われる場所

その他のアイデア

店舗バイトは学生(友達が遊びに来て食べる。親や祖父母に宣伝、インスタもUP)/クラファンする際は市から広報、学校等市民全員に情報が渡るようにしたい/宿泊施設は①めっちゃくちゃオシャレ、アメニティもないがSNS映え②商店街全体がホテル。夕飯やお風呂も近所のおすすめを紹介して少し歩いて散歩/中学生が作るイルミネーション/BASEが大型スーパー/今したいことができる場所がBASE通り/シャッターを開ける！

駅の北と南&人々をつなげたい

駅北側とつなぐ地下通路について

駅の近くでありながら、暗い、通りたくない空間をなんとかしたい→明るい空間へ→アートな空間になるといいな

地下道を抜けた駅北側に何か？

電車を待つ時間の有効活用/北側のロータリーも、バス利用者、駐車場利用者、マイカーによる送迎などそれなりの利用者がいる/新博物館への導入路にもなる

参加者より

※アンケートより抜粋して掲載しています

若い方の参加や意見がとても大切に宝だと思います/理想だけで実現するのが難しいことがわかりました。熱量と実現可能性が上手くはまればいいな/この会議をライブ配信して欲しい/様々な意見があり興味深い。一つにすることは難しいが、この活気を元の実現へと動かせるようにしたい/年代によって求めるものが違うことを実感/駅前は土岐市の玄関なので、輝く場所にしたい/高校生の意見は自分にはない発想だった

